

## 展示会のご報告

### 「老舗のこだわり～デザインから見たブランドづくり～」

日 時：平成21年1月27日（火）～2月6日（金）  
11：00～21：00（日曜日は20：00まで、最終日は16：00まで）  
会 場：淀屋橋 odona（オドナ）2階 アイ・スポット  
主 催：企業ブランド力向上プロジェクト実行委員会（大阪市、大阪「NOREN」百年会）  
掲載内容：＜パネル＞開催趣旨・大阪「のれん」商法とは  
浪花百景  
浪花の繁栄～大坂三郷の商工～  
近代都市の構築～大大阪の生活と文化～  
大阪「NOREN」百年会会員企業の創業年表  
改正新版大阪明細全図  
老舗企業のこだわり

協力企業：下記31社

|           |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| (株)あみだ池大黒 | (名)神宗     | (株)銭辰堂    | 西川リビング(株) |
| (株)阿波弥    | (株)玉初堂    | (株)せのや    | ニッタ(株)    |
| 井澤金属(株)   | (株)小鯛雀鮫鮫萬 | 学校法人相愛学園  | 日本ペイント(株) |
| (株)石原時計店  | (株)小林新聞舗  | 大寅蒲鉾(株)   | 樋屋製菓(株)   |
| (株)宇治園    | ザ・パック(株)  | 大日本除虫菊(株) | 丸萬本家      |
| (株)宇治香園   | 島田商事(株)   | (株)高山堂    | (株)桃谷順天館  |
| (株)小倉屋山本  | 白井松器械(株)  | (株)田中家    | (株)山田念珠堂  |
| (株)花外楼    | 末澤産業(株)   | (株)谷安組    |           |

来場者数：672人

次ページ以降、期間中に展示していましたパネルの1つ「老舗企業のこだわり」について掲載しています。ぜひご一読ください。



## 株式会社 あみだ池大黒

創業1805年(文化2年)  
栗おこし・菓子製造販売

大阪市西区北堀江3-11-26  
☎ 06-6541-1854

## 商品・パッケージデザインへのこだわり

千石船の往来が盛んな江戸時代、全国から集まる良質なお米に着目した初代が生み出したお米のお菓子。カリポリ噛んでおいしい「おこし」は、大阪の代表銘菓。

以来200年余り、その独特の硬さと四角い形、レトロなパッケージで、今も愛され続けています。ところが、従来のおこしのイメージを打ち破って発売された『浪の詩』。落ち着いたモノトーンのパッケージとソフトでライトでクリスピーなおこしはあまりにも斬新でセンセーショナルでした。硬くてたましい定番のおこしとソフトでオシャレな『浪の詩』。どちらも根強いファンに支持されています。

伝統を守る一方、相反する全く新しい時代のセンスやデザインを取り入れた商品開発にも努めています。



昔ながらのおこし



明治38年(1905年)当時のおこしの包装紙(原画)



おこし「浪の詩」



## 株式会社 阿波弥

創業1745年(延享2年)  
葬祭業

大阪市西区新町1-13-15  
☎ 06-6531-0042

## ロゴ・社章デザインへのこだわり

阿波弥は、心に残るお葬儀をサポートすると共に、伝統を守り続け、時代に合った新しい葬祭文化の創造に果敢に挑戦し、社葬・ホテル葬・お別れの会・家族葬等を行っています。

「業界大手」・「業界の老舗」といわれていますが、一方で業界の先を行く数々の新しいサービスを提案、実行しており、業界に先がけて、会館事業やTVのCM、新聞広告によるイメージアップをはじめ、業界初のIC導入など新時代に合った葬祭文化を創るクリエイターとして、常に、新しいサービスの実現に挑んでいます。

ロゴは、「株」が入を、「●」が心を表し、アワヤ(AWAYA)の頭文字のAをデザイン化しており、愛する「人」との永遠の別れを迎える時に、「心」を込めてサポートするという弊社のモットーを表現したものです。

葬祭会館 あみだ池 和光殿  
(大阪市西区北堀江3-7-27)

フラワー祭壇の一例



## 井澤金属株式会社

創業1866年(慶応2年)  
非鉄金属製品販売

大阪市中央区南船場1-13-10  
☎ 06-6262-1231

## ロゴデザインへのこだわり

井澤金属は創業以来、ギギ(#)のマークを用いていましたが、他社との類似を避けるため、昭和60年に新本社ビルの建築を機にCI(Corporate Identity)活動を開始しました。

このロゴは、IZAWAの頭文字の“i”とCIのテーマ“Interest & Idea”の頭文字の“i”をシンボル化したもので、無限の好奇心とみずみずしいアイデアを武器に、非鉄金属の総合技術商社として、コンサルティングセールスを通じて、お客様から信頼される真のパートナーでありたいと願っております。

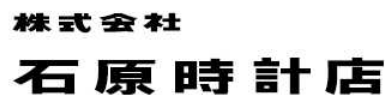
また、国内最大級の室内テニス大会“IZAWA Xmas Open”に平成元年から特別協賛、スポーツを通じた社会への貢献も続けています。



三菱重工(株)H2A型ロケット



IZAWA Xmas Openテニス



## 株式会社 石原時計店

創業1846年(弘化3年)  
時計・宝飾品小売

大阪市中央区北浜4-1-1  
☎ 06-6231-1726

## 店舗デザインへのこだわり

ここより北へ徒歩数分、淀屋橋南西角に歴史の重みを滲ませ御堂筋の門衛のように建つ石原ビルディングがあります。レトロ照明が彩る石造りのエレベーターホールは、端正な階段手摺とモザイクタイル装飾で「タイムスリップ感覚」満点です。また淀屋橋より見上げれば、門衛の肩飾りにも似た浪漫漂う屋上テラスと大きな窓に、往時の紳士淑女のさざめきが映るようです。この門衛の足元に伏す獅子のような店舗が、江戸創業以来、信用第一の「石原時計店」です。

今から163年前、ハイカラなお客様が精巧な時計に魅了されたように、今も私たちは“時”の商人・時計司として、選びぬいた商品に相応しい店舗で、皆様を心からおもてなし致します。



石原ビルディング「外観」



石原時計店「入口(上)・サロン(下)」



## 株式会社 宇治園

## 商品・パッケージデザインへのこだわり

日本茶を取り巻く環境も、ライフスタイルと共に様々な変化を見せていますが、日本人がお茶によって喉の渇きだけでなく心の渇きも癒されていることに変わりはありません。

心斎橋宇治園には、老舗の日本茶専門店として自信をもってお勧めする看板商品に「おかめ」があります。見た目は悪いお茶だが飲むと味わい深い中身本意のお茶であることがネーミングの由来です。そんな「おかめ」も現在ではリニューアルされ「小佳女(おかめ)」となり一層多くのお客にご愛顧いただくこととなりました。「小佳女」の意味は小=ちよいと佳女=いいおんな。神戸御影在住の美術家「綿貫宏介」先生の手による、美術作品ともよべるデザインで一層魅力的な装いとなっております。

創業1869年(明治2年)  
緑茶・茶関連品製造販売

大阪市中央区心斎橋筋1-4-20  
☎ 06-6252-7800



旧来のデザイン(親しみやすさを重視)



現在のデザイン(高級感を重視)



創業慶応元年

株式会社 宇治香園

創業1865年(慶応元年)  
茶製造・卸小売

大阪市中央区心斎橋筋1-5-19  
☎ 06-6271-0681

## 株式会社 宇治香園

## 店舗デザインへのこだわり

店舗デザインでなによりも重視したのは店への「入りやすさ」です。老舗だからと敷居を高くするのではなく、初めての方や若い方にも気軽に入っていただいでこそ店はその機能を発揮します。「癒し」や「安らぎ」という日本茶の持つキーワードを感じていただける空間。さらには、お茶を中心にお客さまとスタッフの会話がはずみ、サロンのような雰囲気。現代的なデザインですが、なぜかなつかしきや心地よさを感じていただけるのは、杉や松など自然の木材や、漆喰や土壁など伝統の素材にこだわった効果。店舗の奥には、日常の一時から離れ、ゆっくりと日本茶を愉しんでいただける喫茶スペースを設けています。

日本茶との出会いを演出し、より日本茶に親しんでいただく、そんな店が宇治香園心斎橋本店です。



宇治香園 心斎橋本店



## 株式会社 小倉屋山本

## 商品・パッケージデザインへのこだわり

小倉屋山本は嘉永元年(1848年)、初代山本利助が小倉屋こと松原久七から暖簾分けして、新町橋のたもとに店を開いたことに始まります。

昆布の真正をお届けするために、当店では上品な甘味、ふっくら肉厚で、昆布の最高級といわれる北海道産の真昆布を使用しております。煮炊きも、旨味を閉じこめる「煎り炊き」などの技法に磨きをかけ、素材の味わいを大切につくり上げています。

ご贈答用には、伝統と格式を大切に、贈る心をカタチにした「えびすめ本箱入り」を始め、そのまま食卓へ、そして冷蔵庫へ、先様の暮らしの中にとけ込む使いやすさを追求した、新しいカタチの「容器入り詰合せ」など、伝統や先人の知恵を尊重しながらも、絶えず工夫を重ねて研鑽に努めています。

創業1848年(嘉永元年)  
昆布加工販売

大阪市中央区南船場4-10-26  
☎ 06-6251-0026



「えびすめ本箱入り」



「容器入り詰合せ」



## 株式会社 花外楼

## 商品・店舗デザインへのこだわり

木戸孝允、大久保利通、板垣退助、伊藤博文らが、明治8年、大阪北浜「加賀伊」に集い開いた「大阪会議」。政治改革についての合意をみて、日本の立憲政体の礎が築かれました。この会議の成功を祝って、木戸孝允が「花外楼」と命名揮毫したものです。

お料理はもちろんのこと、器や装飾品にもこだわり、お客様に上質なひとときを提供してまいりたいと考えております。

また、花外楼アベノ近鉄店は、古き伝統と粋を好んだ船場商人の伝統を意識してデザインした船場の商家を象ったお店です。百貨店の喧嘩を離れた内装は、多くの人達から支持され、親しまれております。

本物のお料理と真心のサービスを提供し暖簾を守り続けること、それが私達の使命です。

創業1830年代(天保)  
日本料理・西洋料理

大阪市中央区北浜1-1-19  
☎ 06-6231-7214



本店



本店



アベノ近鉄店

上方の味

# 神宗

神宗

創業1781年(天明元年)  
塩昆布、佃煮等の製造・販売

大阪市中央区高麗橋3-4-10  
☎ 06-6201-2700

## 商品・パッケージデザインへのこだわり

当店は、初代神宗屋宗兵衛が大阪に海産物問屋(三町問屋)を創業以来、今にその味を伝えています。北海道白口浜産の「天然真昆布」だけを使用し、直火釜でいねいに炊き上げて素材の甘さと旨みを最大限に引き出した佃煮は、お客様に永く愛されてきました。

当店のこだわりは味だけではなく、「利便性」と「高級感」を追求し、従来の佃煮包装の概念をくつがえす業界で初めてのパッケージを開発(2002年度ジャパンパッケージングコンペティションおよびコンテストにて上位賞を受賞)。容器として保存できる個別包装に、当店所有の大阪市指定有形文化財「久留米藩大坂蔵屋敷絵図」をあしらいました。このパッケージは幅広いご進物として、またご自宅用にも大変喜ばれ、皆様に広く迎えられております。



商品を移し替える手間をなくしました

「掛け紙」を掲げている箱に工夫した包装紙



## 株式会社玉初堂

創業1804年(文化元年)  
線香・香・匂袋製造

大阪市東成区中道1-5-13  
☎ 06-6971-2142

## 商品・パッケージデザインへのこだわり

初代当主が暖簾を掲げて200余年。以来、様々な場面で新しい「デザイン」を取り入れてきました。

まずはパッケージデザイン。当社の主力商品である実用線香は、横型のデザインを採用しました。これはお仏前に置かれたお線香を取り出す時に、横置きの方がつまみ出し易いからです。さらに「リビングシリーズ」。パッケージのテーマは「モダンな和風」です。昨今、お仏壇の小型化やモダンな仏壇のニーズが高まっていることにあわせて、仏事に特化しない香調とパッケージを採用しました。

次に製品デザイン。大阪で発明されてから100年の歴史がある「渦巻線香」ですが、かつては熟練した職人さんが247cmもの長さのお線香を手で巻いており、どうしても品質には問題が…。それを自動で巻く機械を自社で開発したことにより、正確な渦に巻くことが可能になりました。



昭和49年発売以来、一躍人気の「香研林」



昨今の仏壇事情を考慮した「リビングシリーズ」



オリジナル自動成形機による「渦巻線香」



## 株式会社 鯛雀鮓 鮓萬

## 商品・店舗デザインへのこだわり

創業当時、浪速江餅(ぼらの子)を材料として使った雀鮓を宮廷に献じることがあり、材料的に見苦しいと西宮沖の小鯛の二才物を用いて作ったところ評判を得ましたため、天明元年(1781年)小鯛雀鮓専門店となり、文化・文政の頃より、箱でおす現在の大阪すしの型になってきました。現在、鮓を詰めるすし桶は、デザインを考慮した重厚なつくりのものとしています。

本店は、伝統的なファサード(建物の正面の外観)ですが、他の店舗では、大阪生まれで海外にも活躍の場を広げている、今をときめくインテリアデザイナー森田基通氏設計あるいは監修の店舗デザインを採用し、伝統を意識しながらも斬新な内外装で、お客様へ特別な空間の提供を行っています。

創業1653年(承応2年)  
すし加工販売

大阪市中央区高麗橋4-5-11  
☎ 06-6231-1520



現在のすし桶



すし萬本店



森田基通氏デザイン/namis(ナミス)

創業明治22年—  
株式会社 小林新聞舗

## 株式会社 小林新聞舗

創業1889年(明治22年)  
新聞販売・広告代理

大阪市平野区流町1-4-1  
☎ 06-6790-0022

## 店舗デザインへのこだわり

平野は堺と並んで中世から自治都市として栄えたところで、江戸期の町屋が点在して残り、豊かな歴史と伝統に育まれた町ですが、町の活性化をめざし、十数年前から「町ぐるみ博物館」運動に取り組んでいます。

この平野の地で明治に産声をあげた弊社は、大阪市内で一番古い朝日新聞の販売店として「新聞屋さん博物館」でこの運動に参画しています。

この博物館と隣接している旧店舗は、昭和4年(1929年)の完成で、国の登録文化財に選ばれています。柱形を造り出し4間に区切ってアーチ窓を並べる石造りの洋館風の外観デザインが特徴。一方、奥の住居部分は伝統的な木造の町屋で、「近代の平野地区の歴史を体感できる建物」と評価されています。



店舗外観



旧店舗



## ザ・パック株式会社

ロゴ・社章デザインへのこだわり

明治11年創業の当社は昭和27年に日本ケースとして衣装箱・洋服箱の製造販売の会社を設立しました。

会社設立から30年を経た昭和57年、この社名では多様化している事業内容が表現できておらず、また会社設立30周年を機に思い切った飛躍を図りたいと考えた森田社長は社名の変更を決意。


30周年式典上でその意向を発表し、前例のない新聞広告による新社名募集には6,000通を超える応募を集めました。「包む」を最大限に表現し、「包装企業の中の包装企業」の意味を込めて新社名は「ザ・パック」と決定されました。社章も変更し、円形は地球と社員の心の和を表しています。

創業1878年(明治11年)  
紙加工

大阪市東成区東小橋2-9-9  
☎ 06-6972-1221



1ピースが創りだす、無限のチカラ。



## 島田商事株式会社

ロゴ・社章デザインへのこだわり

明治20年(1887年)、大阪の天王寺にて、ボタンの製造販売を主とした『島田定商店』を創業し、昭和28年(1968年)に今日の『島田商事株式会社』へ改称しました。

ロゴは、創業当時の商品である、ボタンと島田の[S]の頭文字から構成されています。

カンパニーカラー「濃い紺」は、太古から存在する「藍色」同様、落ち着き・完成された技・磨かれた技術を示す色とされています。

培った伝統・精神をしっかりと受け継ぎ、最高紳士服からスポーツ・カジュアルといった、幅広い分野に活躍できる多種多様なパーツ、副資材を創造し、無限の可能性へとつながるファッションを担う企業として、つねに挑戦し続けています。

創業1887年(明治20年)  
アパレル縫製資材総合商社

大阪市中央区谷町3-1-12  
☎ 06-6943-6691



## HANDEX

## 白井松器械株式会社

ロゴ・社章デザインへのこだわり

弊社のロゴ(登録商標)の誕生は、昭和13年大阪大学との深い関係の下誕生したもので、それ以前までは、井と白を組み合わせたものが、ロゴ(社章)として使われていました。

当時理化学機器などの弊社製品開発に携わっておられた、大阪大学関係者に敬意と感謝を評し[大阪大学]の「ハンダイ」の「ハン」と、当時共同開発で完成させた「エックス線装置」を組み合わせてできた「Handex」が、弊社のロゴマーク「Handex」となりました。

その後の昭和16年には、大阪大学の指導のもと国産初の電子顕微鏡を作製完成させました。現在も、大阪大学とのつながりはロゴの下に続いております。

創業1872年(明治5年)  
医療・理化学機械

大阪市中央区森ノ宮中央1-19-16  
☎ 06-6942-4181




## 末澤産業株式会社

ロゴ・社章デザインへのこだわり

当社の社章は、炎を赤のイメージカラーで表しております。

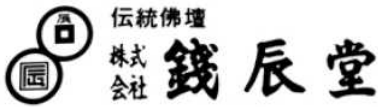
昭和初期までは、江戸時代より続いた屋号「まるひら」を表す丸に平の社章を用いておりました。昭和に入り薪炭を扱っていた商いをLPガス事業に変遷していく中で、先々代の末澤俊夫がこれからのガスカンパニーとしての歩みを示すためロゴ変更し現在に至っております。

外側の二重枠がそれぞれ『G』と『C』を表し、中央の無限大『∞』を縦にした形は、末澤産業の『S』とともに、誓を表します。「薪炭で火を灯していた頃から変わらずガスの炎をお客様の下へお届けし続ける」という想いが込められております。

創業1893年(明治26年)  
LPガス販売業

大阪市福島区福島5-4-21  
☎ 06-6451-7777





伝統佛壇

株式会社 銭辰堂

創業1834年(天保5年)  
仏壇仏具製造販売・葬祭業大阪市中央区高津3-1-3  
☎ 06-6631-7871

## 株式会社 銭辰堂

## ロゴデザインへのこだわり

当銭辰堂は、仏壇商には珍しい屋号だと云われて参りました。

江戸年間に両替商「銭屋」を営んでおりましたが、天保年間に銭屋季兵衛が仏壇商に転業。その後、二代目の辰之助が、先祖の「銭屋」と「辰之助」を合わせて銭辰と称号致しました。

ロゴマークも、当時のお金の形に辰之助の「辰」が合さり、この形になりました。

そして、天保3年発行の古文書(浪速買物独人案内)の記載によると、更に少なくとも50年くらいは遡って繁栄していたものと証明されています。

(大阪大学の元名誉教授、宮本又次氏による)



適合商標: (伝統仏壇) (美術仏壇)



看板 仏壇

創業1887年(明治20年)  
大阪みやげ企画・販売大阪市中央区難波1-7-2  
☎ 0120-544-728

## 株式会社 せのや

## 店舗デザインへのこだわり

紙店として創業した後、紙文具とルームアクセサリ、さらに、ファンシー、バラエティ、ファッション雑貨店として業態転換を行い、平成10年から、寄席文字の橘右佐喜さんがデザインした「なにわ名物いちびり庵」の屋号で大阪みやげ専門店としてオリジナル商品の企画開発と店舗展開をしています。

昨年7月、戎橋筋商店街にある本店のリニューアルを行いました。成瀬國晴画伯に描いていただいたイラストによる看板を掲げ、「大阪みやげ」と染めたのれんを吊るすなど老舗感を意識したファサード(建物の正面の外観)、芝居町の櫓(やぐら)をデザインした店内の什器など、デザインを意識した店舗設計にこだわり、「大阪の魅力」を発信しています。



成瀬國晴画伯による看板イラスト



老舗感を意識した本店ファサード 遊藝店店内の櫓什器

学校法人  
相愛学園創業1888年(明治21年)  
教育大阪市中央区本町4-1-23  
☎ 06-6262-0621

## ロゴ・学園章デザインへのこだわり

本学の学園章は、西本願寺の紋章(下がり藤)に相愛の文字をあしらったものです。

1888年に西本願寺津村別院の建物の一部を校舎として私立相愛女学校を設立。学園の設立者は、西本願寺第21代宗主明如上人。下がり藤の花が太くなったり細くなったり、また「相愛」の文字が右からのものが左からになったりしましたが、120周年を機に完全データ化され現在のものとなっています。

校舎や講堂照明やパイプオルガンなどに藤の花をあしらって、学生生徒たちの心に建学の精神「自他(じた)共(とも)に是(そ)れ如(よ)ら(に)よ(ら)い(の)一(い)っ(し)なり、當(まさ)に相(あ)い敬(あ)い(き)よう(あ)い(す)べし」である観聲聖人のみ教えを伝えています。



相愛大学南港講堂



相愛大学南港ホールパイプオルガン



相愛学園本町講堂

大寅蒲鉾  
株式会社創業1876年(明治9年)  
水産ねり製品大阪市中央区難波3-2-29  
☎ 06-6641-3451

## 商品・パッケージデザインへのこだわり

創業以来130余年。厳選された新鮮な魚原料、こだわり抜いた製法、手作りの職人技、を信条に、美味しい蒲鉾づくりに努めてまいりました。大阪ならではの鮭をふんだんに使った「はもいた」、大阪独自の焼通し蒲鉾「蒲穂子」、大寅のロゴマークの元になった「梅焼」、すべて昔から多くのお客様に愛され続けていただいています。そして、2年前「大寅匠味」を発売。従来の蒲鉾づくりを踏襲しつつも、より魚本来のうま味を大切にし、みりんや塩などの調味素材にもこだわった逸品です。パッケージデザインは今までの大寅ロゴマークを生かしつつ、優しさ、上品さをイメージさせた新たなデザインを採用しました。今後も伝統と斬新さを融合させながら時代にマッチした新商品開発を進めてまいります。



昔ながらの石臼のすり鉢



昔ながらの定番商品



2007年発売「大寅匠味」



**KINCHO**

大日本除虫菊株式会社

創業1885年(明治18年)  
家庭用殺虫剤、家庭用品

大阪市西区土佐堀1-4-11  
☎ 06-6441-0451

商標・商品デザインへのこだわり

「鶏口と為るも牛後となる勿れ」は、司馬遷『史記』の一節で、創業者がモットーとした言葉です。明治43年(1910)に「金鳥」として商標登録されました。業界の創始者であり、今後もトップメーカーであり続けたいという決意の表明でもありました。郷里で蜜柑の輸出を始めていたが、恩師の福澤諭吉の紹介で来訪した米国のアモア氏と知り合い日本にはなかった除虫菊の種子を入手し、全国に栽培奨励するかたわら、世界初の棒状蚊取線香を発明、改良を加え渦巻き型蚊取線香を完成させました。

ブランドとオリジナリティへの矜持をもって、現在も「KINCHO」の商標を掲げ、殺虫剤、防虫剤、化学雑巾、洗剤など多岐にわたる製品群を創っています。



金鳥の渦巻



株式会社高山堂

創業1887年(明治20年)  
和菓子製造販売

西宮市鳴尾浜2-1-26  
☎ 0798-41-3321

商品・パッケージデザインへのこだわり

明治20年の創業以来、私たちは和菓子という日本の「美」文化に向き合い、そして創造して参りました。時代の移り変わりと共に、常にその時代に求められる商品・パッケージデザインを意識することは、私たち日本人の持つまことに「美」文化と存じます。

現在の代表商品「スイートまーめいど」は、和洋折衷の焼饅頭ですが、「余分なものは加えず、シンプルで飽きがこない、誰からも愛されるお菓子でありたい」という想いをこめて、シンプルモダンなパッケージデザインとなっています。

また、私たちの基調カラーは黒。シンプルモダンな商品。桜をデザインしたはんなりとした包装紙で包み、最後にシャープな印象の黒い手提げ袋にお入れすることによって、メリハリをきかせると共に、お菓子を手にしていただくお客様へワクワク感をお届けしたく考えています。



スイートまーめいど



スイートまーめいどパッケージ



株式会社  
田中家

創業1873年(明治6年)  
石碑加工販売

大阪市阿倍野区阿倍野筋3-10-1-100  
☎ 06-6632-0548

商品デザインへのこだわり

弊社は、墓石のみの販売ではなく、記念碑・慰霊碑などをお客様のお気持ちをお聞きしてデザイン提供するなど、創業130有余年にわたり培ってきた歴史と伝統を生かし、「霊園・石碑」に関するあらゆるご要望にお応えしております。

明治初期、阿倍野斎場前にて石材の販売および休憩所として創業し、その時代時代の家族観や宗教観に応じてまいりました。現在弊社では、昨今の核家族化・少子化問題で墓守を心配される方々に、先を見据えたお墓の形態として永代供養付墓所を企画し、天王寺区寺院墓地にて販売をしております。

これからも、世に感謝の念を忘れず、精進こめた「心のこもる」ものづくりを通して、お客様が笑顔になるお手伝いを提案してまいります。



本社・ショールーム



永代供養墓所

記念碑  
楠葉山先生



株式会社  
谷安組

創業1899年(明治32年)  
総合建設業

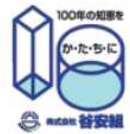
大阪市北区堂島1-3-4  
☎ 06-6345-0001

建物デザインへのこだわり

明治32年に創業し、本年110周年を迎える私たちにとって、今日まで承継されてきた知識・技術・ノウハウ、又これらの集積である「知恵」が当社のかけがえのない資産であり、成長・進化のための糧です。

時代と共に建築に対する顧客のニーズが多様化している中、当社は「100年の知恵」の更なる向上を図り、より一層の「安全」「安定」を追求し、お客様から必要とされる企業であることを目指すとともに、施工物件のファサード(建物の正面の外観)や内装などにもこだわりのデザインを採用しています。

社業に対する誇りを持ち続け、「100年の知恵」が次世代において役立つように、地域社会の一員として行動していくことに努めています。



ENISビル  
(2006年10月竣工)

谷安ビルビル  
(2006年11月竣工)



大阪  
西川リビング  
株式会社

創業1566年(永禄9年)  
寝具・寝装品製造販売

大阪市中央区本町1-3-15  
☎ 06-6262-9114



近江蚊帳



快眠ソリューション



「快圧空間ふとん」の断面

ロゴ・商品デザインへのこだわり

「西川」のボタンマークは、第十二代西川甚五郎が家名をデザインして商標登録しました。柔らかい波型は、七・五・三になっています。

創業当時の主力商品は「蚊帳」。なかでも二代目甚五郎が考案した、新緑の葉に日がさす美しい情景をヒントに萌黄色に紅の緑をあしらった蚊帳は「近江蚊帳」と呼ばれて大評判となり、全国に販路を広げました。

その後、合繊綿布団を開発し、寝具革命といわれたブームを巻き起こし、近年には、研究所での睡眠実験に基づく商品開発を行うとともに、キャラクターを積極的に取り入れた商品デザインや快眠を発信するショールームを通じて、「心地よい眠り」から一歩進んで、「暮らしのトータルリラクシング」を提案しています。



ニッタ株式会社

NITTA

ニッタ株式会社

創業1885年(明治18年)  
伝動運搬用ベルト製造

大阪市浪速区桜川4-4-26  
☎ 06-6563-1211

ロゴ・社章デザインへのこだわり

当社の社章は、創業後間もない明治20年代に使用し始め、明治32年4月11日に商標登録しました。

この社章のいわれはいくつかの説が伝わっていますが、その一つは「星」の形は大阪の「大」と事業発展を象徴する「大」を表し、中の三本線は事業の発展の基礎が「人」と「技術」と「金」の三つの要素の調和にあることを表したというものです。また、「星」は天空に輝き、仰ぎ見て悠久を感じさせるものであり、企業の永遠を望むものとして明治・大正期に多く使用されたデザインであるといわれています。

現在は、社章とともに日常的にはシンボルマークの「夢ひょうたん」を使用しています。こちらは下から上へと続く三つの円が過去・現在・未来を象徴しており、社章と同様に事業の発展を表しています。



社章



シンボルマークの「夢ひょうたん」



Basic & New  
日本ペイント

日本ペイント株式会社

創業1881年(明治14年)  
塗料製造・販売

大阪市北区大淀北2-1-2  
☎ 06-6458-1111



小楯目標



日の丸印社章

ロゴ・社章デザインへのこだわり

当社のシンボルマークは、昭和59年に導入したCIに基づいて制作しました。太陽とそのエネルギーを増幅するレンズが、未来を見通す「眼」を形成しています。

当社の前身「光明社」の創業当初はまだ商標がなく、艦船用塗料の国産化を望み、事業化の支援に尽くされた海軍塗料工長の名前から「中川平吉伝」としていました。

明治31年、株式会社としてスタート時に、恩人の姓から「中」を意匠化、光明社の「光」と海軍のシンボル「楯」を配して、社員の意気心を打つ小楯としました。

「日の丸印」社章は大正14年、国益に寄与した輸出貢献企業として、皇室から侍従を大阪工場に差遣された光栄を記念して「日」をデザインして制定したものです。



樋屋製薬  
株式会社

創業1622年(元和8年)  
医薬品製造

大阪市北区天満1-4-11  
☎ 06-6351-3031

ロゴ・パッケージデザインへのこだわり

当社は、初代坂上忠兵衛が天満の地(現本社所在地)で奇応丸を創製して以来380年余に亘り操業を続けてまいりました。当社のロゴマークである梅鉢は、大阪天満宮より特別に頂戴したものと伝えられており、それをトレードマークとした昔から馴染み深い伝統的なパッケージは懐かしさを感じさせます。

また、お子さまやお母さまに人気があるハローキティを使用したパッケージは見ているだけで楽しい気持ちにさせてくれます。最近、新発売いたしました樋屋奇応丸EXは、元来の雰囲気を残しつつも一新された斬新なパッケージでご好評をいただいております。これからも皆さまの健康、とりわけお子さまの健康を守るため、様々な観点から一層の努力を重ねる事業に取り組んでいく所存です。



金松樋屋奇応丸・小児薬樋屋奇応丸



ハローキティベビーズパッケージ



樋屋奇応丸EX



家 万 本

## 丸萬本家

## 店舗デザインへのこだわり

当店は、幕末に初代店主が能登(石川県)から大阪へやってきて開いたものです。

ミナミの店が一時休業の後、船場で新しい店を再開するにあたり、商家でもある現在の店主が、初代店舗の写真を製版(エッチング)した原版を参考にして、新店舗の外観を当時のままに再現しました。

これは「初代の趣にふさわしい伝統の味をよみがえらせたい」という八代店主の思いによるものです。また、それは店内のインテリアや器のデザイン等にもあらわれています。

創業1864年(元治元年)  
日本料理(魚すき)

大阪市中央区瓦町1-5-15  
ヤスタEC瓦町ビル1F  
☎ 06-6201-4950



製版の原版とそれによる印刷



初代店舗の店先にあつた看板を再現



現在の店舗外観



MOMOTANI JUNTENKAN  
SINCE 1885

株式会社  
桃谷順天館

創業1885年(明治18年)  
化粧品製造販売

大阪市港区市岡2-4-30  
☎ 06-6571-6621

## ロゴデザインへのこだわり

当社の社章(登録商標)は、桃とトンボのマークです。この社章の桃とトンボの意味は……

桃は古代中国では長寿の意味を持ち、創始者・桃谷政次郎の生家に代々伝わる仙人像がこの「長寿の桃」を手に行っていることからシンボルとなりました。トンボは漢字で「蜻蛉」と書き、「あきつ」とも読みます。「あきつ」とは、大和(日本)の古語で日本を象徴する枕詞。

魔除けや長寿の願いをこめた桃と、飛翔するトンボにあやかって、「いいものをいついつまでも国内外へひろめたい」という思いを表しており、事業に取り組んでいます。



会社の看板



現在の製品



株式会社

## 株式会社山田念珠堂

## シンボルマーク・商品デザインへのこだわり

当社は、厳選した原材料を調達し、自社工房で創作念珠を一貫生産しており、その品質は高い評価を得ています。

仏教で修羅・人間・天上・地獄・餓鬼・畜生の六道と地藏菩薩様とお釈迦様。その八生道の図形から八つの界が現れ、お念珠の形になります。シンボルマークの八つの丸が宇宙(地球・太陽・月・火星・水星・木星・金星・土星)で、未広がりも意味します。C I は果てしなく広がる雄大な宇宙。仏の教えそしてみんな仲良く未広がりにを折念して創造され、それゆえ信頼の証しであり、私達の象徴です。

創業1861年(文久元年)  
念珠製造卸

大阪市天王寺区東高津町6-13  
☎ 06-6768-1815

